

【平成17年度専修学校教育重点支援プラン事業】

事業名	高度セキュリティプロフェッショナル人材育成プログラムの開発と実証		
学校法人名	学校法人河合塾学園		
学校名	トライデントコンピュータ専門学校		
代表者	河合弘登	担当者・連絡先	桜井裕治 yuji.sakurai@kawaijuku.jp

<事業の概要>

本事業では、セキュリティ分野のプロフェッショナル人材育成プログラムの研究開発をテーマとする活動を推進した。具体的には、セキュリティ技術や教育に関する調査を実施した後、セキュリティプロフェッショナル人材の育成を狙いとするカリキュラムの策定及びテキスト教材の制作を行った。更に、テキスト教材を用いた実験的な授業を行い、人材育成プログラムの内容やレベルなどに関する検証を試みた。

なお、人材育成プログラムが目標としているセキュリティプロフェッショナル人材が備えるべきスキルレベルの高さや修得すべき技術内容の多様さといった理由から、カリキュラムは四年制課程である。

<成 果>

調査研究では、IT業界におけるセキュリティ教育の最新動向の詳細を明らかにすることができた。特に、基礎から応用に至る一連の訓練体系に対する分析結果は、カリキュラム体系に多いに活かされており、技術トレンドが反映された内容となっている。専門学校において、四年間に亘るセキュリティ分野のカリキュラム体系に対する検討が十分に進んでいるとは言い難い現状を踏まえると、この成果の意義は大きい。もちろん、このカリキュラムはひとつの言わばモデルケースであり、また内容的にも十全とは言い切れないが、これを起点とすることによって、各校の実状に応じた最適なカリキュラムのあり方を探ることができるはずである。

また、テキスト教材も市販書籍などには見当たらない内容・レベルのものを完成させることができた。セキュリティという技術領域の特性から、教材化するエリアの絞込みの議論には多くの時間を費やすこととなったが、全体としてはバランスの取れた構成にまとめることができた。また、想定は高学年次科目への適用であるが、全体三部構成の導入部分（第一部）の内容は、実証実験の結果から工夫次第で低学年次に対しても利用が可能であることも確認されており、教材としてのフレキシビリティも備えている。

セキュリティ技術教育は専門学校にとって新しい領域であり、かつその範囲が広く内容面の流動性も高い。そのため、事業推進のプロセスを通して様々なテーマについて論議を行わなければならなかったが、結果としては、事業の起案時に構想した以上の成果を結実させることができたものと考えている。